

「神戸ルミナリエ募金」ボランティアに感謝状！

毎年12月に開催されている「神戸ルミナリエ」、昨年のルミナリエも盛況のうちに終わりました。

本校では毎年JRCや自治会厚生委員会そして有志による募金ボランティアを行っています。

昨年もルミナリエの開催期間中の4日間に延べ49人(実人数は1年15人、2年15人、計30人)が募金活動を行いました。

大震災の起こった1995年12月、阪神・淡路大震災犠牲者の鎮魂の意を込めるとともに、都市の復興・再生への夢と希望を託して始めた「神戸ルミナリエ」。

以来、「神戸ルミナリエ」は震災の記憶を語り継ぎ、都市と市民の希望を象徴する行事として、毎年開催しています。初めてルミナリエを見たときの感動は今も忘れることはできません。傷ついた神戸、折れていた心にやさしく希望と勇気を与えてくれるそんな温かい灯りでした。

当初から毎年12月に開催されているため、近年では「神戸の年末の風物詩」として定着しています。

多いときは500万人以上の来場者がありましたが、近年は400万人を下回り、昨年末は325万人でした。予算的にも厳しくなっており、当初2週間であった会期も、2007年から12日に、2015年には10日に短縮されています。

財源は募金に頼るところも大きく、本校生が取り組んでいるルミナリエ募金のボランティアもとても頼りにされています。そんな本校の活動に対して神戸市から感謝状を頂いたものです。ボランティアに参加してくれた生徒のみなさん、指導して下さいました先生方、ありがとうございました。



家庭科の調理実習、先生方が試食しています

2年生の「家庭基礎」ではこの時期、調理実習を行っています。そして完成した作品を先生方に試食してもらっています。

今年は「お弁当」です。和食がユネスコの無形文化遺産に登録されたこともあり、和食に取り組みます。

「和食・出汁を活かし、伝統食を取り入れたお弁当」～先生方に感謝を込めて～のテーマでできあがったお弁当を先生方に試食して頂きます。

献立は、「白飯または炊き込みご飯」、

「豆腐と三つ葉のすまし汁」、そして主菜は「魚料理」、何の魚をどのように料理するかは各班の自由です。

副菜は「野菜料理」と「いも」、「豆料理」、それと「なます」です。野菜やいも、豆をどのように料理するかは自由です。

どのクラスも班毎にそれぞれ趣向を凝らしたお弁当を作成しました。

主菜の魚は「ぶりの照り焼き」や「鮭のムニエル」、「鯖の味噌煮」等、魚だけでも様々です。

副菜はもっと様々で、種類も多く、手間暇をかけて作っており、試食をする方も毎回どんなお弁当か楽しみにしていました。

食べ終わったあとは評価をします。

主題がきちんと表現され、出汁のうまみが活かされているか等、5項目で各5段階評価です。生徒の力作だけについて評価も甘くなってしまいます。

高校の家庭科が男女共修になって20年、今では男子も普通に調理実習をし、その腕前もなかなかのものです。

家庭科の先生方には準備段階から後片付けまで、大変だったと思います。ありがとうございました。



〈みんなで分担して調理をします〉



〈主菜は鯛と梅しそチーズ巻き(2-2)〉



〈おにぎりのお弁当です(2-1)〉